

花木鉢物のわい化栽培

第1報 ベニゲンペイカズラ、アリアケカズラの茎伸長抑制に対するウニコナゾールPの作用

福留弘康

緒言

指宿植物試験場の観賞用植物栽培において、鉢花生産は特に重要な作目である。これまでゲンペイカズラ (*Clerodendrum thomsoniae* Balf.) に注目し、その栽培方法について試験を行ってきた。また、ゲンペイカズラの交雑種であるベニゲンペイカズラ (*Clerodendrum* × *speciosum* Lem.) の栽培も開始したが、茎が徒長しやすく、草姿がまとまりにくいという欠点がある。前報では、ベニゲンペイカズラに対し試験的にわい化剤を利用し、茎の伸長抑制効果を報告した。現在試験的に鉢栽培を始めたアリアケカズラ (*Allamanda cathartica* L.) も茎が徒長する傾向が認められる。アリアケカズラは、南米北部原産の半つる性低木で、明るい黄色で漏斗状の花径約10cmの花をつける。本実験ではこの2種類の花木に対して茎の伸長開始期にわい化剤を使用し、茎の伸長抑制の効果を検討をした。

材料と方法

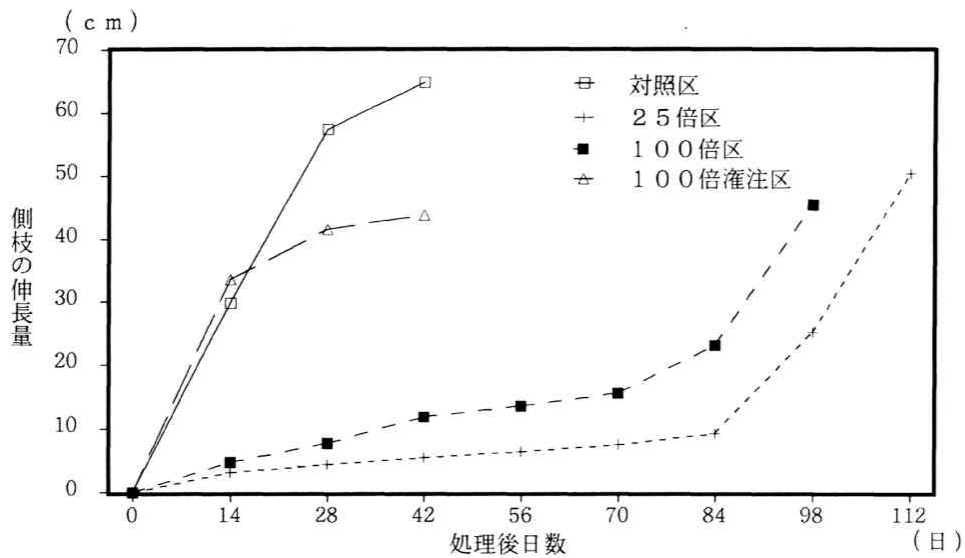
ベニゲンペイカズラは、6号黒ポリポットに3本植えし、アーチ状に十字がけした支柱(高さ28cm)に誘引していた徒長枝を1998年6月18日に剪定し、草姿を整えた。7月1日ほぼ生育の揃った20鉢を選び、7月2日わい化剤処理を行った。アリアケカズラは4月23日、4号黒ポリポットに3本植えて栽培していたものをプラスチック6号鉢に植え替え、草丈が約50cmに伸長した6月25日、ベニゲンペイカズラと同様に支柱に誘引した。7月9日、ほぼ生育の揃った20鉢を選び、7月10日わい化剤処理を行った。わい化剤はウニコナゾールP(商品名スミセブンP、ウニコナゾールP含有量0.025%、アグロス社製)を使用し、25倍希釈区、100倍希釈区、100倍希釈土壌灌注区(以下25倍区、100倍区、100倍灌注区という)の3処理区を設け、対照区には蒸留水を用いた。各処理区とも1処理区当たり5鉢を供試し、1鉢当たり40mlを葉面散布、土壌灌注量は、ベニゲンペイカズラ100ml/1鉢、アリアケカズラ200ml/1鉢とした。その後の管理は慣行法とした。調査は、わい化剤処理以降に伸長した茎長(ベニゲンペイカズラは1鉢当たり3本、アリアケカズラは同4本)について2週間毎に行い、節数及び節間長は最長茎についていずれも処理後42日目に行った。

結果と考察

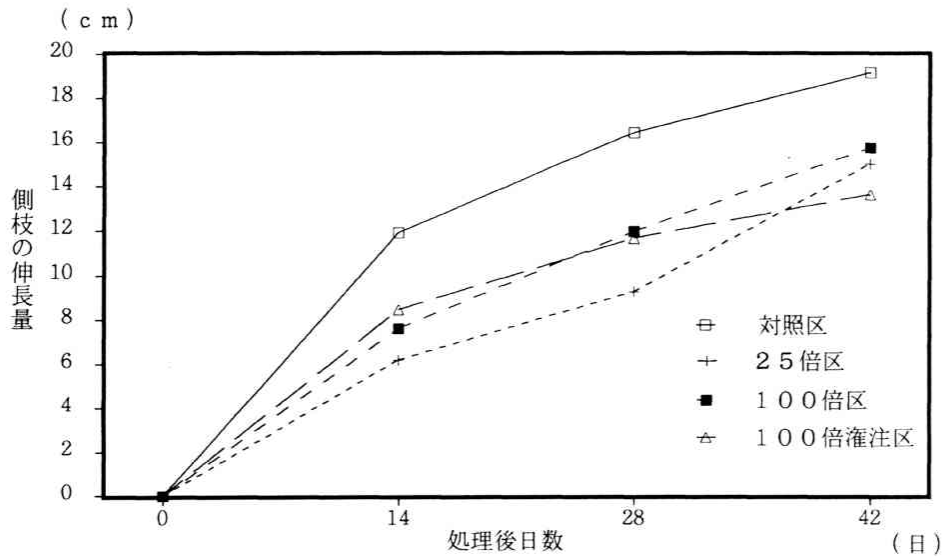
ウニコナゾールP処理によるベニゲンペイカズラの側枝の伸長量は、25倍、100倍の両区で明確に抑制され、42日目において、対照区との差は、それぞれ60cmと53cmとなった。この抑制作用は、両区とも84日目まで続き、その後急速に伸長を開始した。100倍灌注区では、14日目まで側枝の伸長量は、対照区とほぼ同じであったが、その後、抑制作用が認められ、42日目で対照区との差は、21cmとなり、処理方法により抑制作用の開始時期に違いが認められた(第1図)。最長側枝の節間長は、25倍区においてもっとも小さくなった(第1表)。

アリアケカズラの側枝の伸長量は、いずれの処理区においても14日目にはわい化剤処理の効果があらわれ、42日目では処理区が13.5cm~15.5cmに対し、対照区は19cmとなり、わずかではあるが抑制された(第2図)。最長側枝の節間長は、25倍区が最小であった。

以上のことから、側枝伸長抑制の程度に差はあるが、ウニコナゾールPを使用することで、ベニゲンペイカズラ、アリアケカズラの側枝の伸長を抑制できることが明らかとなった。ベニゲンペイカズラに対するウニコナゾールPの有効希釈倍率は25~100倍で、効果期間は84日程度である。アリアケカズラについては、今後は最適濃度だけでなく、回数、処理方法などもう1度検討していく計画である。



第1図 ウニコナゾールPがベニゲンペイカズラの側枝の伸長に及ぼす作用



第2図 ウニコナゾールPがアリアケカズラの側枝の伸長に及ぼす作用

第1表 ウニコナゾールPが処理後42日目の最長茎の茎長、節数および節間長に及ぼす影響

	対 照 区			25 倍 区			100 倍 区			100倍灌注区		
	茎長 (cm)	節数 (本)	節間長 (cm)	茎長 (cm)	節数 (本)	節間長 (cm)	茎長 (cm)	節数 (本)	節間長 (cm)	茎長 (cm)	節数 (本)	節間長 (cm)
ベニゲンペイカズラ	93.7	9.8	9.4	15.0	4.2	3.5	28.3	5.2	6.3	78.4	9.0	8.7
アリアケカズラ	46.9	5.4	8.7	35.2	5.2	6.3	43.5	5.5	8.0	40.1	6.3	6.7